

提言案「令和 9 年度までの募集定員の公私比率等について」の修正箇所について

以下のとおり、記述内容を精査し修正しました。

	第 5 回部会（前回）	修正後
P 1 2 の 4 行目	加筆	<u>また、令和 2 年度に制度が充実された高等学校等就学支援金については、生徒の選択肢の幅が広がったとの意見が出されました。</u>
P 3 6 行目	このことから、全日制高校や高等専門学校への進学を希望していた生徒が、受験までの段階で希望が変わったり、受験を経て定時制高校や通信制高校へと進学したりしている状況が <u>あること</u> が分かります。	このことから、全日制高校や高等専門学校への進学を希望していた生徒が、受験までの段階で希望が変わったり、受験を経て定時制高校や通信制高校へと進学したりしている状況が <u>分かります</u> 。
P 4 5 行目	【資料 7】全日制高校進学者の地域間の <u>流出入の状況</u>	【資料 7】全日制高校進学者の地域間の <u>移動状況</u>
P 4 ～ P 6 ①～⑥	令和 3 年 3 月卒業者の <u>全日制高校の地域間の流出入の状況</u> を見ると、この地域の中学校からの全日制高校進学者のうち、89.8%が地域内、10.2%が地域外の全日制高校に進学しています。地域外の主な内訳は、鈴鹿・津地域へ 5.9%、愛知県など県外へ 3.6%となっています。この地域では、他地域への流出者より他地域からの流入者のほうが多く、 <u>流出入率は 103.8%</u> でした。	令和 3 年 3 月卒業者の <u>全日制高校進学者の地域間の移動状況</u> を見ると、この地域の中学校からの全日制高校進学者のうち、89.8%が地域内、10.2%が地域外の全日制高校に進学しています。地域外の主な内訳は、鈴鹿・津地域へ 5.9%、愛知県など県外へ 3.6%となっています。この地域では、他地域への流出者より他地域からの流入者のほうが多く、 <u>地域間流出入率(注 1)</u> は 103.8%でした。
P 4 ～ 追記		<u>(注 1) 地域内の全日制高校への入学者(県外および県内他地域からの入学者も含む)を地域内中学校から全日制高校への進学者数(県外および県内他地域への進学者を含む)で割った値を表す。</u>
P 7 (1)	近年、全日制高校への進学希望者の割合が年々減少していることなどから、計画進学率と実績進学率との差が <u>以前より大きくなっており、総募集定員の充足率が低下</u> しています。	近年、全日制高校への進学希望者の割合が年々減少していることなどから、計画進学率と実績進学率との差が <u>大きくなり、総募集定員の充足率は以前より低く</u> なっています。

P 8 (3) 2段落	<p>私立高校は、生徒急増期に中学生の進路保障に大きな役割を果たした経緯があり、<u>経営の安定も図りながら、設置者独自の建学の精神に基づき、県立高校にはない個性豊かで特色ある教育活動を展開</u>しています。</p>	<p>私立高校は、生徒急増期に中学生の進路保障に大きな役割を果たした経緯があり、<u>設置者独自の建学の精神に基づき、県立高校にはない個性豊かで特色ある教育活動を、経営の安定に努めながら展開</u>しています。</p>
	<p>このように、公私で担うべき役割や特性がそれぞれあることから、中学校卒業生数の減少の中にあっても<u>公私が協調して総募集定員の減少に対応し、子どもたちの選択肢の維持・充実を図る</u>必要があります。</p>	<p>このように、公私で担うべき役割や特性がそれぞれあることから、中学校卒業生数の減少の中にあっても、<u>公私が協調して協議を行って総募集定員を策定し、子どもたちの選択肢の維持・充実を図る</u>必要があります。</p>
3段落	<p>中学校卒業生数は、令和9年度までの5年間に県全体で約1,000人減少することが見込まれますが、<u>募集定員の策定にあたっては、それぞれの地域における中学校卒業生数の増減の状況、県立高校と私立高校の設置数や学校規模、中学生の進路状況などが異なることを勘案する必要があります。このことから、各地域の公私比率については、地域間の生徒の流出入はあるものの、…ように策定される</u>ことが適切です。</p>	<p>中学校卒業生数は、令和9年度までの5年間に県全体で約1,000人減少することが見込まれますが、それぞれの地域における中学校卒業生数の増減の状況、県立高校と私立高校の設置数や学校規模、中学生の進路状況などは異なります。<u>これらを勘案すると、各地域の公私比率については、地域間の生徒の移動はあるものの、…ように策定される</u>ことが適切です。</p>
4段落	<p>総募集定員が策定された後は、<u>今回の検証において地域間の流出入の状況について確認したことをふまえ、地域ごとの進学率や流出入の状況を考慮した全日制高校入学見込み人数の増減を基本に、各地域における中学生の状況、学科の配置や欠員等を勘案し…</u></p>	<p>総募集定員が策定された後は、地域ごとの<u>計画進学率や地域間流出入率を考慮した全日制高校入学見込み人数の増減を基本に、各地域における中学生の進路状況、学科の配置や欠員等を勘案し…</u></p>